

ヤマトの提案コンセプト



「蓄熱利用」による総合的な**温室効果ガス排出量低減**

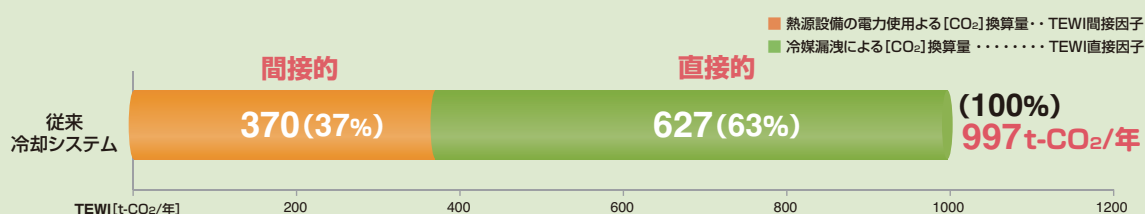
1. 「冷媒漏洩」による温室効果ガス排出量 (**直接的な要因**) を大幅に低減
2. 「電力使用」による温室効果ガス排出量 (**間接的な要因**) を低減



「蓄熱利用」による**省エネ・ランニングコスト低減**

1. 外気温度の低い夜間に冷凍機を高効率運転 (**省エネ、蓄熱料金割引**)
2. 昼間ピーク時における電力デマンド低減 (**節電、ピークカット**)

従来の冷却システムの温室効果ガス排出量 (TEWI)



従来冷却システム (店舗規模)
売場面積: 2,000m²
営業時間: 9:00~24:00
消費電力量: 800,000kWh/年

TEWI (Total Equivalent Warming Impact: 総合等価温暖化因子)
… 地球温暖化の影響を総合的 (直接因子と間接因子) に評価する指標

TEWI
51%
低減

総合的な温室効果ガス排出量の大幅削減と、ランニングコスト低減を同時に解決

ウルトラ エコ・アイスシステム

「蓄熱利用」により、投資回収4~5年

TEWI
さらに
低減

フロンガスを使用しない冷却システムを開発

(平成21年度 NEDO 代替フロンガス等3ガスの排出抑制設備の開発・実用化支援事業)

ノンフロンウルトラ エコ・アイス システム

補助事業の活用により、導入しやすくなります